

第143回やどかり精神保健実践セミナー

地域で暮らす

アメリカ・カルフォルニア・ロザンゼルス精神保健協会における生活支援を検討する

精神障害を抱え、街の中で暮らすことは容易ではない。病気や障害への偏見、無理解、支える仕組みの貧困さは未だに変革されていない。しかし、「ごく当たり前の生活の実現」を目指して活動してきた「やどかりの里」の実践をはじめ、各地で生活を支える活動が胎動を始めている。そうした折、アメリカから来日した精神障害者の語る人生は、彼らが地域で生きるために闘った彼らのプロセスであり、自ら勝ち取った暮らしへの喜びの声に満ちていた。今こそ、日米の関係者による新たな創造が始まるのだ。